



京都マイコン研究会

第134号

1998年9月1日発行

発行人 圓口佳昭

事務局 京都府八幡市八幡城之内1-1
TEL/FAX 075-981-0063, 982-8064
nomasuda@inbox.kyoto-inet.or.jp
KYOMYCOM@inbox.kyoto-inet.or.jp

トピックス and 雑談

岩井宏安

中辻氏のマシンが。
お盆前に、GW社のPC介護の甲斐も無く成仏したそうです。

Vip K6-2/300搭載のNweマシンがTwo Topより、8/24に届くとのTELありました。それまではインターネットでの連絡はお休みです。13万強で入手したとのことで6月から3万も安くなり、どこまで値下げ競争が続くか目が離せません。10月頃発売されるWindows98(IEEE 1396標準搭載)のPC99版と位置づけられた新機種(動画対応版)は、オープン価格にしる興味が湧きます。

皆さんのPCも大文字の送り火と一緒に冥土に旅立たれましたか?。線香の一本も供えたく思います。.....。

南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏、チーン。

例会報告

1998年8月1日 (pm.6:30)

場所 大山崎ふるさとセンター

参加者氏名 若林、中辻、若井、中村
増田、岩井、小寺 7名

内容 ハード部会：若林氏、談(my.pc夢か!)。
インターネット部会：FrontPageを使用したホームページの作成手順(増田)
その他：

次回例会

日時 98年9月5日(土) (pm.6:00)

場所 大山崎ふるさとセンター

例会内容 18:00 ハード部会
19:00 Vip K6-2/300搭載のNweマシン稼働体感。(中辻氏)
20:30 インターネット部会報告
FrontPageでのHTML作成。
(IN部会：若林氏)

皆さんへ

蒸し暑い日が続きましたが、昨日から夜の気温も下がり、過ごしやすくなりました。暑さに負けずに元気にお過ごしのことと存じます。

やっと、ホームページ(HP)の更新が出来ましたので、お知らせします。今回は、一部の方から催促を受けてしまい、嬉しいやら、これからの更新に不安を抱くなど複雑な気持ちであります。

今回の更新内容は、

1. 「がらくた写真」は、7月に続いて、鉄道関連の写真です。
2. 「Tomoppyの独り言」は、Windows98のインストールの奮闘の記事です。
3. 「おもちゃ箱」もすべて更新です。ストレス解消に役立つと確信?。

それから、わが家に日立から嫁入りがありました。現在、その世話に夢中です。

今日から盆休みの方もいらしゃると思います。是非、見て戴いて、感想を「tomoppyのサロン」へ投稿下さい。寂しいです。

それでは、来月に向けて準備します。

E-mailアドレス変更のお知らせ。

● 前田征治 氏

大変長い間ご迷惑をお掛けしましたが、ntt-Te関西の佐原様のご厚意に依りましてTAも買い換えることもせずに二度も三度もご親切に誠を尽くして戴きご足労を願ったお陰で素人の私でもInternetを楽しませて貰うことが出来るように成りました。又、今後とも宜しくお願いを申します。

河原 : tomoppy

E-Mail :

HomePage : <http://www2s.biglobe.ne.jp/~tomoppy/>

<http://www.twin.ne.jp/~tomoppy/>

b obup_iy の 忘 備 録

HIROYASU. IWA I

『BIOSの基礎』

ハード部会で手作りPCに挑戦される皆さん、PCの根元を担うBIOSを避けては、世界に一台しかないオリジナルPCは作れません。また、既にメーカ製のPCを使用されている方もBIOSを理解することで、ハングアップやデッドロックのトラブルに遭遇してもハード、OS、APPの何れの不具合かが特定でき、トラブル対策が可能となるでしょう。しかし、APPの習熟にはあまり役立ちませんので、他の部会で研修して下さい。

タイトルを『K6-2報告』を改め『BIOSの基礎』とします。
チントラチントラ文章を並べても理解が困難と考え箇条書きにいたしました。

BIOSの基礎 (01)

BIOSを設定する基礎知識

A 勿回勿勿勿勿

- ① クロックとクロック周波数
 - ・PCにはパルス発振器(クロックオシレータ)が搭載されています。
 - ・パルス信号の一周期を”1クロック”と呼ぶ。
 - ・ $100\text{MHz} = 100,000,000\text{Hz}$ (1億ヘルツ)。
 - ・PCには標準で 14.318MHz のクロックオシレータが搭載されている。
 - ・マザーボードにあるジャンプスイッチで必要な周波数に連倍している。
- ② 内部クロックと外部クロック
 - ・外部クロック周波数はマザーボードの基本となるベースクロック周波数。
 - ・マザーボードに搭載されている機器のアクセス速度はこれで決まる。
 - ・内部クロック周波数は、CPU内部の動作クロック周波数を表す。
 - ・CPU内部の動作速度(内部クロック)が 100MHz の場合、外部クロックも 100MHz で動作させるのが理想ですが周辺機器(HDD・メモリ等)の動作速度が追従できない。
 - ・CPU内部を高クロックで動作させている。(現在最高速は 400MHz)
 - ・連倍率は7倍まで可能と言われているので 500MHz で動作するCPUもできるようです。
- ③ 周辺機器へのアクセスタイミング
 - ・マザーボード上の周辺機器は外部クロック周波数できまります。
 - ・Intel系のCPUは $60\text{MHz}/66\text{MHz}$ がベースクロックとして多く使用されている。
 - ・ 60MHz の1サイクルタイム = $1(\text{sec}) \div 60\text{M}(\text{Hz}) = 1(\text{sec}) \div 60 \times 1,000,000 = 16.6\text{n}(\text{sec})$
 - ・ 66MHz の1サイクルタイム = $1(\text{sec}) \div 66\text{M}(\text{Hz}) = 1(\text{sec}) \div 66 \times 1,000,000 = 15.0\text{n}(\text{sec})$
 - ・ 100MHz の1サイクルタイム = $1(\text{sec}) \div 66\text{M}(\text{Hz}) = 1(\text{sec}) \div 100 \times 1,000,000 = 10.0\text{n}(\text{sec})$
 - ・一般のメモリアクセス速度は $60 \sim 70\text{ns}$ であるのでメモリ側が追従できない。
 - ・周辺機器は、外部クロック(低速)にタイミングを合わせて非同期動作をしている。
 - ・CPUは、内部クロック(高速)のサイクルクロックに同期して命令の処理をしている。
- ④ クロック周波数による性能比較
 - ・Pentium/i486DX4ともに 100MHz で動作PCを比較する。
 - ・Pentium—— 100MHz (内部) = 66MHz (外部) $\times 1.5$
 - ・i486DX4—— 100MHz (内部) = 33MHz (外部) $\times 3.0$
 - ・外部クロック 66MHz と 33MHz では2倍あり周辺機器のアクセスはPentiumが高速。

- ・データバスサイズはPentium (64ビット) でi486DX4 (32ビット) で、転送量は2倍。
- ・Pentium はスーパースケーラー (1クロックで2命令) 処理。
- ・異なるCPUを内部クロックで比較するのは意味が無い。
- ・P-Ratingと呼ぶ比較が有りPentiumの何MHz相当と表記している。

次回に続く!!

BIOSを設定する基礎知識として、下記の項目で進めたいと思います。

- A・クロック周波数 (今回)**
- B・システムリソースに関する基礎知識**
- C・IDEとSOS I**
- D・PLUG & PLAP**
- E・PCIバス**
- F・メモリ**
- G・メモリのアクセスタイミング**
- H・BIOS設定 (98/7会報で一部紹介済み)**

参考書籍【エーアイ出版・PCユーザーの基礎知識 AT互換機のBIOS】

馴染みの単語ですでに理解済みとは思いますが、復習を兼ねて忘備録を書くつもりです。

記憶喪失から脱却し、論理に裏打ちされたPCを自由自在に使い倒す。を目標と一緒に勉強したいと思います。

希望や意見、質問などは月例会やメールでお知らせ下さい。

京都マイコン研究会の目標と理念は、『KMKを健全活発に育て、PCを自由自在に使い倒す』ことです。

記

1998・8・16 岩井 宏安

岩井宏安メール録

皆さん失敗談を聞いてよ！

h-waiのサーバは、個人に割り当てられているDisk容量が10MBを超えると送受信ができなくなり、8MBを超えると送信できなくなり、6MBで警告を出すそうです。

このような条件を知らなく心配していましたが、W氏成功との連絡で安心しました。

メールを発信してまもなく、メールの送受ができなくなり昼食時、シスオペに話をする。

と、メールでの返事で使用条件を知りました。10MBを超えたらユーザでは削除もできなくなり、自動対応でなく、良心的に外部のシスオペが対応していました？。サーバーに直結しているDiskには思わぬウイークポイントが有るものです。

なぜ10MBを超えたか考えますと、削除済みファイル(前日の送信ファイル)もDiskを使用していたのです。後で気がつくてんかん病でした。チャンチャン。

爆暑のど真ん中、大丈夫ですか？。増田氏よりチョー重い、質問を勝手に解釈しています。

増田氏 → 岩井へのメールです。

メールの送信割り当て容量の件、皆さんに先立って実験していただきありがとうございます。

送信した相手方はどうなるのでしょうか？

割り当てられた容量オーバーになっても受信は出来るのでしょうか？

実験されましたか。実験結果を報告ください。削除されるのでしょうか？

次回会報に掲載したいですね。(む〜。なかなか良い実験をされていますね岩井氏は。)

増田氏の質問①『送信した相手方はどうなるのでしょうか？』

質問の内容は、送信側の規定値以上のメールを受取れるか？と言う事ですか。

①送信者は社内LANに接続されたサーバを多人数で使用するため平等の規定値がある。

②規定値を超えて扱えるのは特権階級に指名されたシスオペです。

③規定値を超えるメールは送信できないので受信の方法が無い。

増田氏の質問②『割り当てられた容量オーバーになっても受信は出来るのでしょうか？』

言い換えれば、受信者の加入しているプロバイダのサーバが容量制限をオーバーしたメールを扱ってくれるか？と言う事ですか。具体例で申し上げます。

① 発信者は6MB弱のメールをkyoto-inetに送信しました。

② 受信者はこの6MB弱のメールの受信に成功しました。

③ kyoto-inetは6MBは許容量以内(最大許容量不明)ですが、受信前にもう一つ6MBのメールがきた場合kyoto-inetのサーバで受信拒否にあうかもしれません。

増田氏の質問③削除されるのでしょうか？

送信者のメールの削除を、何時するのか？と言う事ですか。

- ①巨大メールは送信側が6MB以下に分割する。
- ②送信終了後サーバ内のメールを全て削除。(削除済みアイテムの中も削除)
- ③受信側は受信メールを完了させ、サーバ内の受信許容量を初期値戻しておく。
- ④受信終了後、受信者はメールの結合を行わなければならない。
- ⑤ 分割、結合は無料のTOOLを <http://www.vector.co.jp> よりダウンロードする。

次のような接続が考えられます。

- ①送信側は専用回線、受信側は公衆回線でインターネットに接続されている場合。
- ②送信側、受信側双方がインターネットに公衆回線で接続されている場合。
- ③送信側、受信側双方がインターネットに専用回線で接続されている場合。
- ④送信側、受信側双方が直接専用回線で接続されている場合。

①②は、中辻氏、若林氏で巨大メール(5700KB超)の送受信確認いたしました。

③④は未確認ですが、京都マイコン研究会がプロバイダを結社すれば可能です？。

TCP/IPもプロトコルなのに、TELNETやFTP(これもプロトコル?)がどのように絡むのか、7階層に関係あるのですか？理解できません。

以上のような答えとなりましたが、特権階級がありインターネットは苦手で、実験や分析が十分にできていませんので、京都マイコン研究会の皆さんで補充、補足お願いいたします。

Wさん、BabylonのSETUP成功なによりでした。

インターネット上の動画作成

増田

以前よりインターネットで動作させる動画の作成をいわれていました作成手順を今回インターネット部会で発表させて戴くでしたが、今月は開催されないようですので例会でお知らせさせていただきます。

最近ほとんどのホームページに動画が貼り付けられています、あまり本来の体形を崩さずに配置していただきたいと思います。

手順と機能をインターネット部会の部長・副部長にお伝えして私たちのホームページを皆さんと協力してより良いものに完成していきたいですね。

インターネット部会

MS-FrontPage

副部長 若林 実

漸くFrontPageインストール出来ました。このコンポーネントはOffice97ではなく、I. E. 4.0に付随していましたがsetup.exeからこれだけをインストールしようと手順通りに選択しても「インストールに失敗」のメッセージが返ってくるので暫く断念していました。

偶々、OutlookExpressの「送受信」が機能せずしばしば此のメーラーがフリーズするので、これが原因かと再インストールし続けてFrontPageを再度試みるも受け付けられないので、一旦IE40及び関連コンポーネントを削除し、今度は「標準インストール」ではなく「完全インストール」を選択したところ不要？なコンポーネントと共にFrontPageがinstallされました。

早速「認定試験」ページの更新を試み取り敢えず更新ファイルを転送しました。以前のファイル同様今回もリストの頭が揃いません。一行空白の操作も解らないのでタグを使用しました。リストの頭揃えは「表作成」を利用する以外に方法はありませんか？

FrontPageはまだ緒に着いたばかりでHPBuilderと比較する域には達していませんがかなり使い易そうです。ただ両者のタグの使い方が若干違うようで、ホームページの各HTMLファイルが作成ソフト別にチャンポンになっても支障を来さないでしょうか？

喝！

岩井宏安

京都マイコン研究会の皆さん昏睡危篤状態のようですね。体温を超えた気温では、あがけばあがくほど体力の消耗が激しく、気力も失せます。夏の無い北日本や、梅雨の無い北海道では活力が湧きません。夏に厳しい西日本、冬は比較的住みやす関西ときやすめです。春と秋は、日本全国楽園といえるでしょう。もうすぐ秋、活力と胆力で勝負です。